

Looking for the New-next

 菱電商事株式会社

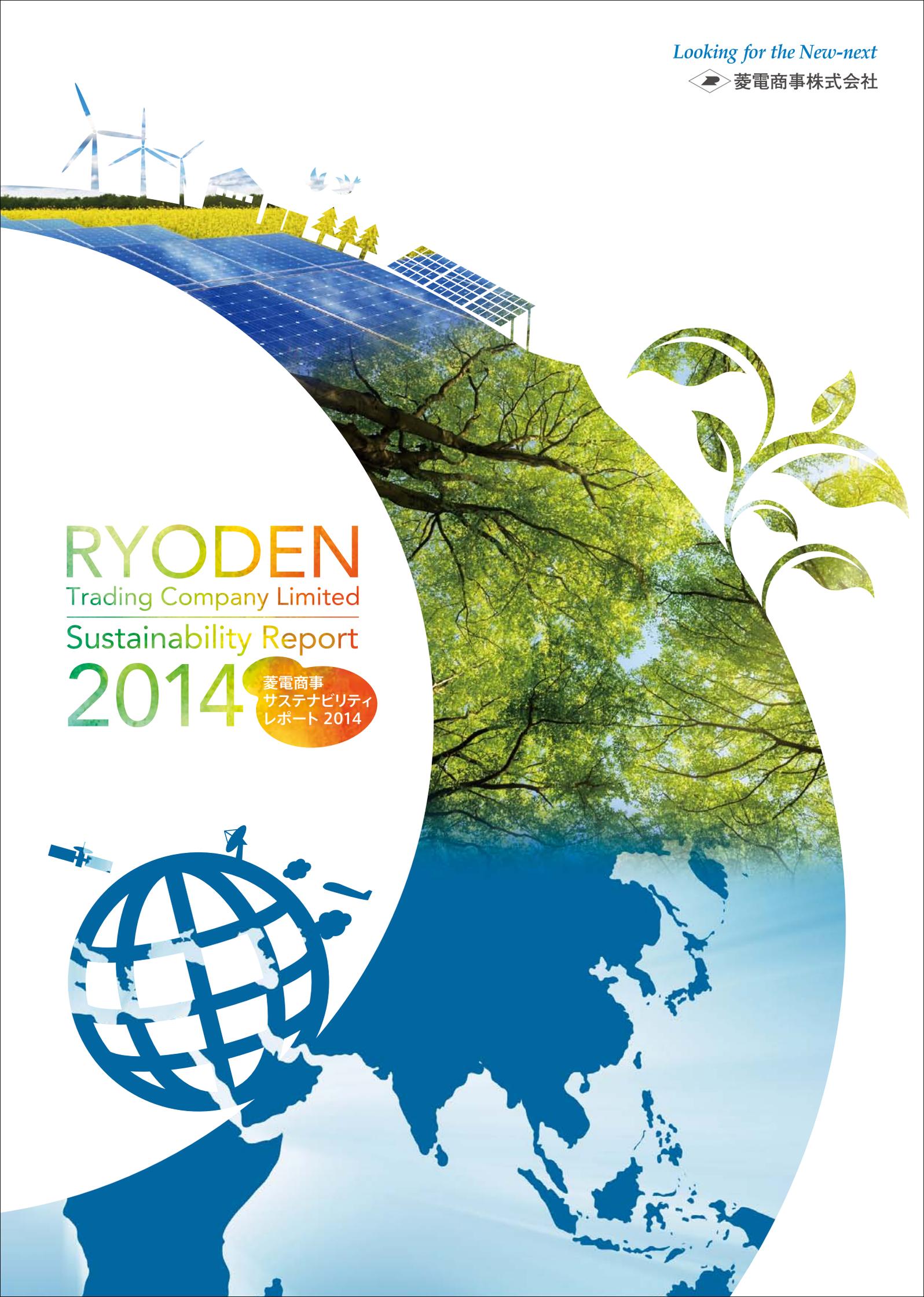
RYODEN

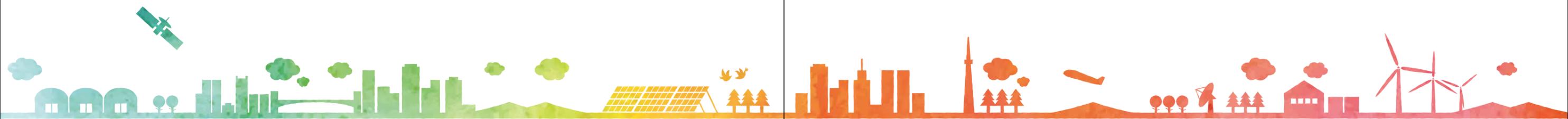
Trading Company Limited

Sustainability Report

2014

菱電商事
サステナビリティ
レポート 2014





編集方針

当社は、企業の社会的責任を重視する経営理念や行動指針の下、全従業員がそれらを理解し、そして協力しながら業務を遂行しています。また、そのことがステークホルダーの皆様の要請に応えることであると認識しています。そのために社会の変化に対し、社内組織や規則・規定の改革・改善を適時に実施し、持続可能な企業活動を行っています。

次に、私達の環境に対する思いは、未来の人々と地球環境を共有しているとの認識の下、地球環境をより良い状態で次の世代に引き継ぐことです。

本レポートは、その思いを持って日常行っている企業活動や環境活動をありのままに表現しお伝えすること、また今後の環境活動をお伝えすることを目的に作成しています。

作成にあたっては、当社の取り組み状況を分かりやすくお伝えするために、専門的な用語は極力避けております。

今後ともステークホルダーの皆様からのご意見をいただきながら、社会的責任を果たす企業活動を行ってまいります。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

※レポート集計期間：2013年4月1日～2014年3月31日

CONTENTS

編集方針	02
CONTENTS	03
社長メッセージ	04
経営理念と行動指針	05
事業概要	06
CSRポリシー	08
コーポレートガバナンスの体制	09

地球環境への取り組み

菱電商事のソリューション	10
EMSソリューション	12
CMSグループの活動	14
環境活動 2013年度の実績	15
2013年度環境会計のご報告	16
環境管理組織と環境活動の歩み	18
環境活動 2014年度の取り組み	19

社会への貢献

生物多様性保全につながる社会貢献活動	20
--------------------	----

人権・多様性の尊重

社員とその家族への責任	22
-------------	----

ステークホルダーの皆様へ

昨年度の世界経済は、新興国経済の減速やデジタル家電の低迷が後退要因となったものの、当社は、米国の堅調とわが国経済の回復基調を好機と捉え、産業機器、自動車及びエネルギー関連に注力して、増収増益増配の決算を致しました。

さて、当社は「地球環境にやさしい企業でなければ生き残れない」という強い思いを持って事業を進めております。その中で昨年当社は中期経営計画「GSP・15」を策定し、さらなる発展を企図しました。その要諦とするところは、当社グループ全体でお客様に密着した活動を行うための拠点展開を進めるとともに、高い経済発展が見込まれる海外への展開、そしてお客様の課題解決に結び付くソリューションの提供を、確信をもって進めることでもあります。

直近の取組みとしては、品質を確保しつつ、コストパフォーマンスの高い部品調達のニーズを先取りし、上海に品質管理部門を設置して海外商材の品質向上と安定供給のためのメーカー指導に取り組んでおります。

拠点展開に関しては、国内営業所を支店へ昇格させ地域密着の営業活動を強化するとともに、東アジア戦略局と東南アジア戦略局をそれぞれ設け、各エリアを統括した戦略の立案と遂行を行うことで、菱電商事グループの総合力を生かす体制を敷きました。東南アジアの強化策として、まずは今年2月インドネシアに現地法人を設立し、活動エリアの拡充を進めています。今後もお客様に近いところに拠点をつくっていきます。

さらにソリューション事業推進のため、11のソリューション部からなるソリューション事業部を新設しました。これにより、お客様固有の課題を理解し、解決策を提案するため、当社がコーディネーターになり、外部のプロフェッショナルであるパートナーと連携して、多様で高度なソリューション事業を推進していきます。パートナーづくりではヨーロッパ、米国等外国の、そして日本の特長を持ったパートナー探しを進めていきます。

このような事業を推進するために、当社は企業活動のベースとなる環境に関する価値観のグローバル化が急務であると判断し、海外子会社のISO14001認証取得を推進しております。昨年度はシンガポール子会社(RTS)で認証取得しました。さらに今年度は香港、タイ、来年度はさらに別の海外子会社で認証取得を目指しております。

これらの活動を通し、低炭素社会実現、循環型社会形成に取り組んでいくとともに品質・環境に長じた「グローバル環境推進商社」を目指してまいります。



取締役社長

山下 聡

Looking for the New-next

経営方針と行動指針

経営理念

- ◆ 社会の変化に対応し、会社経営の安定と発展に努め、社会に貢献する。
- ◆ 誠実な営業活動と先進的な技術の提供により、取引先の信頼に応える。
- ◆ 社員の人格と個性を尊重し、専門性及び改革心と創造力の高い人材を育成する。

これらを精神的支柱として時代を勝ち抜く企業になろうとしています。

行動指針

1. 法令・ルールを遵守する
2. 利益ある成長を目指す
3. グローバルな企業として社会に対する責任をはたす
4. 自己の考えを確立し、活力ある組織を創る
5. 人格や個性を尊重し、高い目的意識をもって自己啓発を行う
6. 経営者・管理者は自らの役割を全うする

事業概要

菱電商事グループは1947年の創立以来、先進的な技術と誠実な営業活動を通じて、お客様の満足度向上に努めてまいりました。さらに昨年度からはワールドワイドに付加価値を提供する「グローバル・ソリューション・プロバイダー」への進化を目指し、新中期経営計画を推進しています。

会社概要

社名	：菱電商事株式会社
本社所在地	：東京都豊島区東池袋三丁目15番15号
代表者	：取締役社長 山下 聡
設立年月日	：1947年4月22日
資本金	：103億34百万円（2014年3月31日現在）
売上高（連結）	：2,247億66百万円（2013年度）
主要取扱品	：電気・電子機器、情報通信機器、産業機器、建設環境機器などの販売
社員数	：943名（2014年3月31日現在）
グループ社員数	：1,190名（2014年3月31日現在）

事業概要

世界経済は、欧州の底入れ感や米国の堅調な成長などに支えられ回復傾向にあるものの、新興国の成長鈍化やウクライナの情勢不安の影響など先行き不透明感が残されています。

一方、国内経済は金融緩和政策による円安・株高が定着し、復興需要の継続や消費税増税前の駆け込み需要などにより、景気回復は底堅く推移いたしました。

当社グループの取引に関する業界は、デジタル家電業界の低迷の影響は引き続きみられたものの、産業機器業界では回復傾向にあり、また自動車関連及びエネルギー関連も概ね堅調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループはワールドワイドに顧客に付加価値を提供する「グローバル・ソリューション・プロバイダー」への進化を図るべく、昨年度を始期とする新中期経営計画「GSP・15（Growth Strategy Plan 2015）」を推進しており、国内では北海道など3つの営業所を開設し、海外では中国・深圳の拠点設置のほか、東南アジア地域での事業強化のため、インドネシアへ拠点を拡充いたしました。また、エネルギー管理システム分野での自社ソリューション創造に向けて太陽光発電所を設置するなど、諸施策を実現してまいりました。その結果、下記のとおり経営成績となりました。

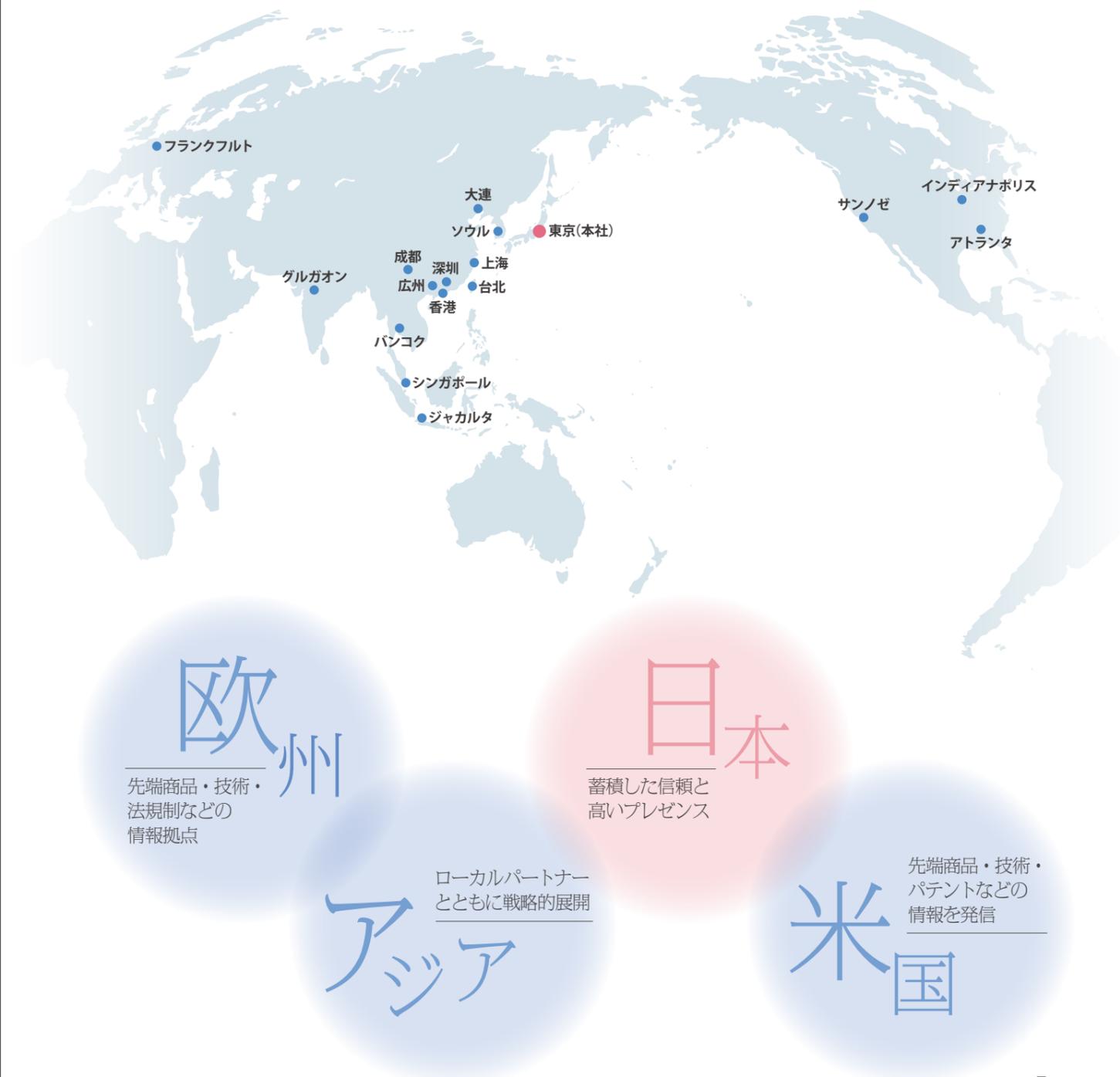


グローバルネットワーク

1990年、シンガポールに現地法人を設立以来、菱電商事は米国、欧州、中国、韓国などに次々と海外拠点を設立。国内における信頼と実績を糧に、それぞれの地域に密着した事業を展開してきました。

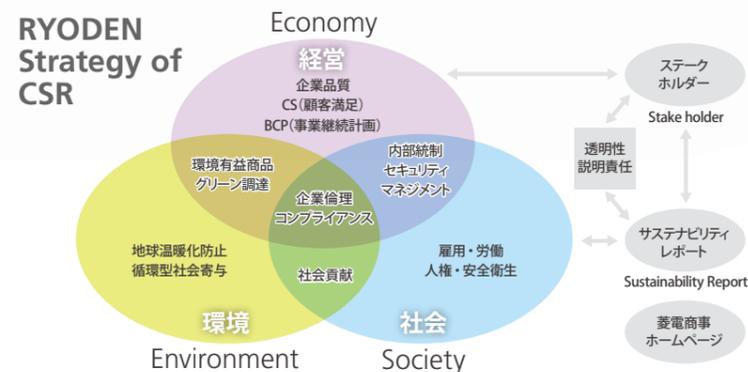
市場のグローバル化が進む現在、お客様をはじめとするパートナーとの共同開発や製品調達サプライチェーンなど、設計・製造・調達・販売のすべてにおいて商社として

のさらなるグローバル化が求められている中、菱電商事グループはグローバル化の促進に力を注いでいます。ここ数年の世界経済の成長を牽引しているアジア地域では、東アジア戦略局を上海に、東南アジア戦略局をシンガポールに設置。域内市場を俯瞰した戦略一元化と拠点の拡充、さらに欧米を含む拠点ネットワークとの連携により事業を拡大しています。



CSR ポリシー

菱電商事グループは、事業活動を通じて地球環境保全に貢献したいと考えています。そのため「環境基本理念」および「環境方針」を制定し、これらに立脚した事業活動を推進しています。地球環境をより良い状態で次世代に引き継ぐため、菱電商事グループはこれからも尽力していきます。



環境基本理念

菱電商事グループは、未来の人々と地球環境を共有しているとの認識の下、より良い地球環境を次の世代に引継ぐことが大きな課題であり、企業活動においても地球環境への積極的な対応が重要な使命であると認識しております。当社は、コンポーネント（部品、機器単品）とソリューション（提案型システム）を幅広い分野に展開している技術商社として、経営理念に掲げる「社会に貢献し、お

取引先の信頼に応える事業活動」を実践するなかで、環境への取り組みを経営の最重要課題のひとつとして位置づけ推進します。環境に配慮した部材・製品・システム及び、ソリューション・サービスの取扱いを積極的に進めるとともに、自らの活動が及ぼす環境負荷の低減、製品含有化学物質の管理、生物多様性への対応に努めます。

環境方針

菱電商事グループは、地球環境の保全に関する基本理念に基づいて構築し、運営している環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。事業活動の推進にあたっては、以下の方針をもってこれに取り組めます。

- 1 環境に関する法規則を遵守するとともに、環境保全に関する社会的要請及び顧客要求事項に応じていきます。**
 - 1) 環境マネジメントシステムの運用による環境負荷の低減
 - 2) 製品含有化学物質管理システムによる適切な情報提供と管理
 - 3) 生物多様性に配慮した社会貢献活動の推進
- 2 下記の項目を、環境管理重点テーマとして取り組み、定期的に見直しを実施します。**
 - 1) 環境の保全に効果的な部材・製品・システム（太陽光発電を中心としたエネルギーマネジメントシステム等）及び、ソリューション（環境ソリューション等）・サービスの積極的な取扱い
 - 2) 事務所内および車輛の環境管理の徹底と、廃棄物の抑制・適正管理・適正処理・省エネルギー、省資源、環境汚染防止などに有効な施策の実施
 - 3) 環境負荷低減のため、事業活動に必要な設備・備品全般において計画的な環境投資の推進
- 3 環境基本理念と環境方針を当社で働く、または主として当社のために働くすべての人に周知徹底します。また、全員がこれを理解し実践できるよう、教育・啓発活動を推進します。**
 環境方針は、定期的に見直しを行い、必要に応じて改訂いたします。
- 4 仕入先・協力業者・関係会社などに対して当社の方針を示し、関連情報を伝達することにより、理解と協力を求めます。**
- 5 環境基本理念と環境方針は、印刷物及び電子化文書で、一般の人々にも公開します。**

2014年4月1日
 取締役社長
 山下 聡

コーポレートガバナンスの体制

企業価値を継続的に高めていくためには、コーポレートガバナンス（企業統治）を有効に機能させることが重要です。菱電商事グループではグループ行動指針に基づき、経営の「透明性」・「倫理性」・「説明責任」および「情報開示」に努めるため、さまざまな施策に取り組んでいます。

コーポレートガバナンス体制

当社は、グループ行動指針に「経営に有益かつ十分なコーポレートガバナンス（企業統治）を推進する。」と定めており、経営の「透明性」・「倫理性」・「説明責任」および「情報開示」に努めるため諸施策に取り組んでいます。当社の取締役会は、取締役16名（うち社外取締役1名）で構成され、月1回定例開催しており、経営の重要事項の決定と業務執行の監督を行っています。なお、取締役の任期は1年で、経営責任の明確化を図るとともに、機動的な取締役会が行えることを目的として、取締役会の書面決議を採用しています。また、社外取締役には、第三者の観点から業務執行に関する助言や牽制機能を担っていただいています。

取締役会の諮問機関として、経営の透明性とスピーディーな意思決定を行うために、社長・役付取締役および担当取締役などで構成される経営会議を開催しており、重要事項に係る検討を行っています。また、常勤監査役も出席し、協議の適正化を図っています。当社の監査役会は、常勤監査役2名および社外監査役2名で構成されており、取締役会および重要会議に出席しています。監査役は各部門・支社に対する業務監査および子会社監査を実施し、その結果を監査役会および代表取締役に報告を行っています。また、内部監査部門および会計監査人とも定期的に情報および意見の交換を行い、監査の充実を図っています。

内部統制システム

当社は、業務が法令・定款に適合するために、内部監査部門において、当社および当社グループ会社に対する、業務監査および会計監査を行い、会社の業務活動が適正に行われているかを監査しています。なお、会計監査人と監査役は、定期的に相互の情報交換や意見交換を行い、監査

の実効性と効率性の確保を図っています。また、役付取締役から構成される「内部統制統括委員会」で、内部統制に関する基本方針の検討や実施状況の確認を行っています。

コンプライアンス体制

当社は、コンプライアンスの徹底を経営の重要課題とし、コンプライアンスに関する規程を定め、従業員に対する教育を徹底しています。企業活動におけるコンプライアンスの徹底のため、担当取締役を委員長とする「倫理・遵法委員会」を設置し、定期的にコンプライアンスに関する推進事項を定め、

実行するとともに、内部監査部門がコンプライアンス遵守状況を監査しています。また、反社会的勢力には毅然とした態度で臨むことを当社「グループ行動指針」に定め、これを徹底し、そのための体制整備を行っています。

リスクマネジメント

当社は、リスクマネジメント基本規程を定め、担当取締役を委員長とする「リスクマネジメント委員会」において、リスクの抽出を行い、発生の可能性および影響度などをもとに対

策を講じ、重要事項については、経営会議および取締役会において審議をし、当社グループ全体の多面的なリスクマネジメントを行っています。

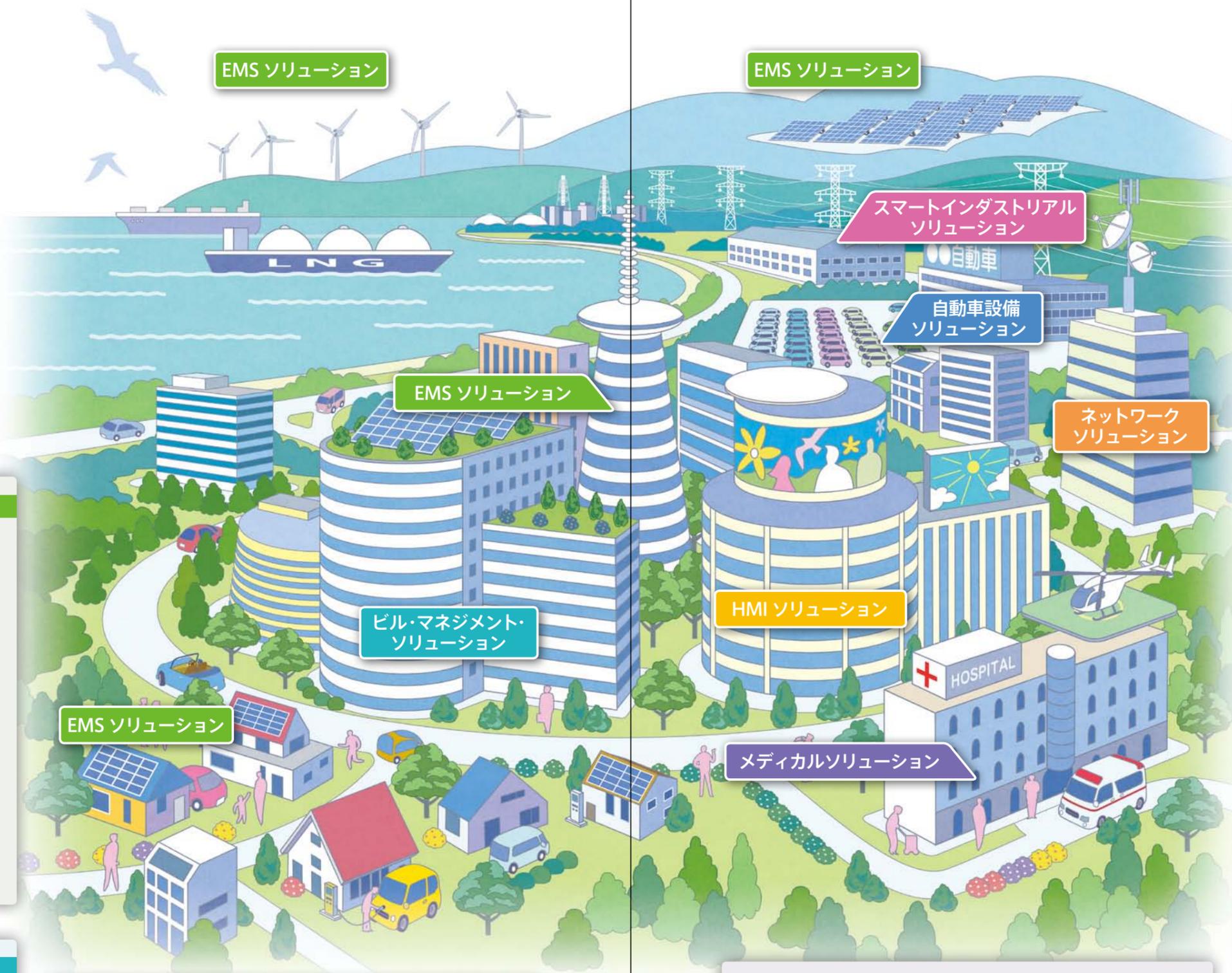
情報セキュリティへの取り組み

当社グループは、社内情報システムへの不正アクセス対策および企業機密情報、個人情報の漏洩防止策を継続的に推進し、従業員に対する教育を徹底しています。・事務所のセキュリティガイドラインを設け、各事業所をゾーン

管理し、入室管理をICカードで行うなど、セキュリティの強化をしています。・業務用パソコンおよびサーバーの一元管理システムを導入し、クライアントの使用禁止ソフトなどの排除を行っています。

当社は事業活動を通じ 地球環境負荷を低減します

菱電商事グループは、製造分野から開発・研究、医療、農業分野まで多岐にわたるソリューション・サービスを国内外で提供し、お客様の課題解決を全力でサポートしております。特に省エネやエネルギー管理のノウハウを駆使した当社グループのソリューションは地球環境負荷を低減し、地球環境保全に寄与します。



EMS ソリューション分野

エネルギーの有効活用や環境負荷低減が求められる中、再生可能エネルギーやEMS (Energy Management System) の重要性はますます高まっています。菱電商事グループは「グローバル環境推進商社」としての実績とノウハウを駆使し、幅広い分野にEMSソリューションを提供しています。

- ◎再生可能エネルギーソリューション
 - ◎BEMS・HEMS・FEMSソリューション
 - ◎パワーマネジメントソリューション
 - ◎BCPソリューション
- ▶詳しくはP12-P13をご覧ください。

ビル・マネジメント・ソリューション分野

商業施設や工場、ビル設備における点検、監視、制御、検針の遠隔操作を24時間365日、全国規模で実現します。

◎遠隔監視システムソリューション

自動車設備・ソリューション分野

コンポーネントやシステム事業の経験と技術を駆使し、設備の最適化を実現する産業用ロボットや管理システムを提案します。

- ◎FAソリューション
- ◎評価・試験ソリューション

メディカルソリューション分野

地震災害や停電・瞬時停電による高額医療機器の被害を最小限にとどめるなど、医療現場の災害対策をサポートします。また、エネルギー管理、診断機器やITシステムの販売・リースまで、医療現場のさまざまなニーズにトータルでお応えします。

◎メディカルソリューション

HMI・センサーソリューション分野

HMI (Human Machine Interface) がさまざまな製品の価値を左右する時代となり、HMIを取り巻くフィールドは無限に広がっています。菱電商事グループでは、オフィスオートメーション、自動車、工作機セットメーカーなどの各分野に対し、多様な環境や用途に対応できるソリューションを提供しています。

- ◎ディスプレイソリューション
- ◎タッチパネルソリューション
- ◎画像処理ソリューション
- ◎EV車両シミュレータソリューション

ネットワークソリューション分野

ビッグデータ時代の到来を受け、ネットワーク技術は日々進化を遂げています。菱電商事グループは市場のニーズをいち早くつかみ、技術トレンドを駆使することで、最適なソリューションを構築します。

- ◎監視カメラソリューション
- ◎資産管理ソリューション

スマートインダストリアルソリューション分野

インダストリアル市場では、製造プロセスの見える化、効率化、安全・快適性の追求が進んでいます。菱電商事グループは半導体およびFA関連商社としての経験とシナジーにより、多様化するお客様のニーズに的確に応えるソリューションを提案します。

- ◎生産管理ソリューション
- ◎検査・安全ソリューション

地球にやさしい菱電商事のソリューション

地球環境保全は、持続可能な社会の実現のために世界的規模で解決すべき課題の一つです。また、省エネ法や地球温暖化対策促進法等の改正により、消費エネルギーの管理・削減は企業に課せられた急務となっております。菱電商事グループは、エネルギー監視・制御システムからパワーマネジメント、再生可能エネルギーまで、幅広いEMSソリューションを提供します。お客様のニーズや課題に合わせ、プランの立案、設計、運営、管理までトータルでお客様のニーズを満たし、かつ地球環境負荷低減に寄与します。

再生可能エネルギーソリューション

環境保全や災害時におけるエネルギーの自給自足といった観点から、再生可能エネルギーへの関心は非常に高まっています。菱電商事グループでは栗原（宮城県）、前橋（群馬県）、浜松（静岡県）の3ヵ所に太陽光発電所を建設し発電事業を行うとともに、本社ビルで発電状況をリアルタイムに遠隔監視しています。この発電事業で培ったノウハウと高い技術力を統合したのが、菱電商事グループの再生可能エネルギーソリューション。プランの立案から収益計画、発電所の設計・施工、運用、監視まで、太陽光発電事業に関するあらゆるサービスをワンストップで提供します。



当社の栗原発電所（宮城県）



パワーコンディショナ

菱電商事グループの太陽光発電事業実績

発電設備	出力規模
栗原発電所（宮城県）	1,000kw
前橋発電所（群馬県）	37kw
浜松発電所（静岡県）	50kw

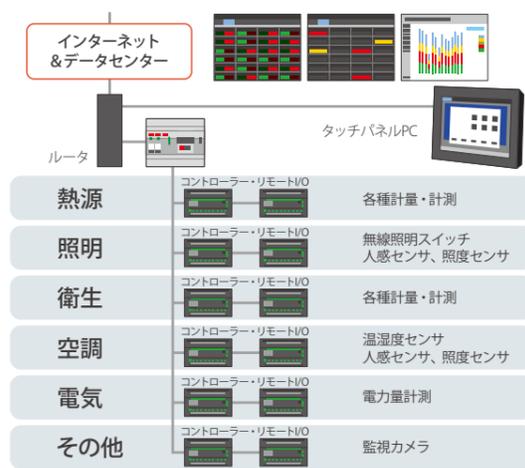


BEMS・HEMS・FEMSソリューション

菱電商事グループでは、専用回線・公衆回線・インターネットを活用するオフィスやスマートハウス、工場に対し、最適なエネルギー監視・制御システムを提案します。特にBEMS（Building Energy Management System）については、ショールームを設置してBEMSによる省エネ・コスト削減の実証を行い、その結果をソリューションの向上につなげています。



本社ショールーム



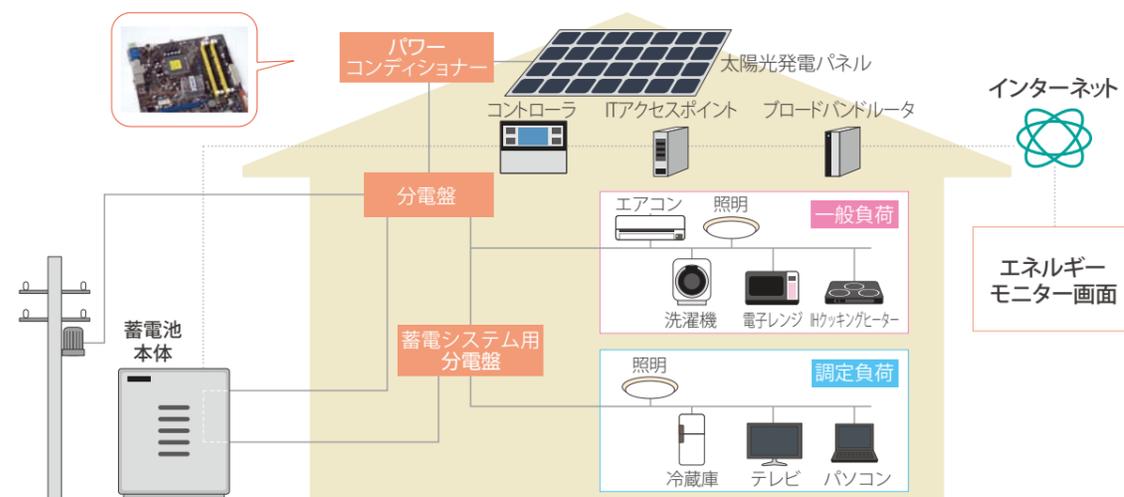
地球にやさしい菱電商事のソリューション

パワーマネジメントソリューション

安全に、かつ効率的に消費電力を削減するためには、信頼性に優れたパワーマネジメントシステムが不可欠です。菱電商事グループでは組み込み制御システム用途の半導

体を活用することにより、高性能でコストパフォーマンスの高いパワーマネジメントシステムを提案しています。

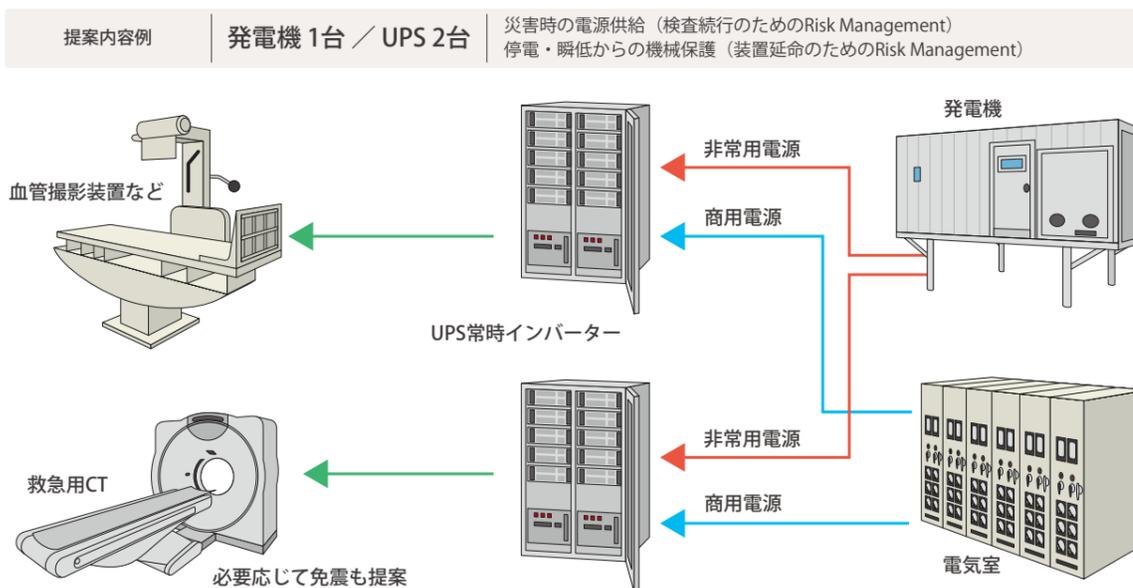
太陽光発電システムのパワーコンディショナー向けにパワーモジュールを中心とした最適デバイス提案



BCPソリューション

近年、災害や事故などの際に事業への影響を最小限に抑え、すぐに事業を再開させるための「事業継続計画（BCP）」の重要性が認知されるようになってきました。菱電商事グルー

プではお客様の事業内容や特徴を把握・分析し、最適なBCPソリューションを提案いたします。



CMS グループの活動

化学物質管理の取り組みは世界中に広がりを見せており、企業においても諸外国の化学物質管理規則への対応は重要な課題となっています。そこで、菱電商事では製品含有化学物質情報を管理する CMS グループを設立。化学物質情報の適切な管理とスムーズな情報伝達に注力しています。

化学物質情報を適切に管理し、世界の要求に応える

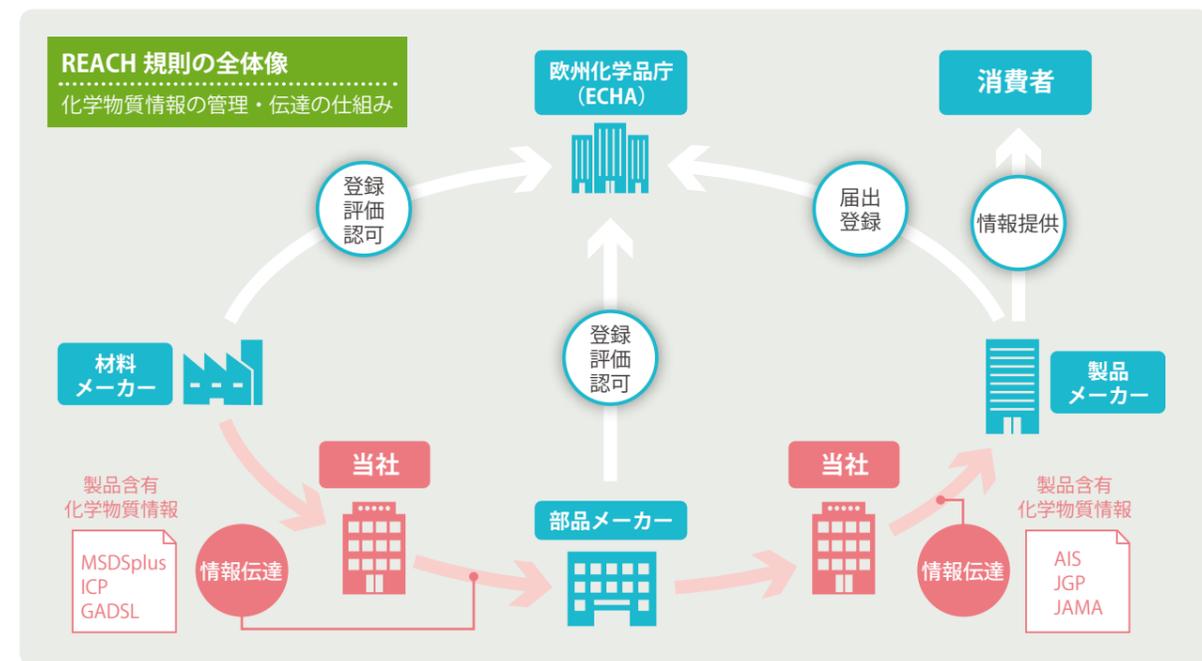
2002年にヨハネスブルグで開催された「持続可能な開発に関する世界首脳会議」(WSSD: World Summit on Sustainable Development)において、「2020年までに化学物質の製造と使用による人の健康と環境への著しい悪影響を最小化することを目指す」との目標が掲げられました。これを受け、各国では化学物質管理の法令の改正・制定が行われ、企業においても諸外国の化学物質管理規則への対応が不可欠となってきています。

たとえば、EUではREACH規則(Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals)を定めており、サプライチェーン上流の化学品メーカーから下流の最終製品メーカーまで、さまざまな業界に化学物質の管理を求めています。EU域内で生産または輸入される化学品については届出や登録が義務づけられ、最終製品メーカーも特定の条件に当てはまる場合は製品含有化学物質に関して届出や登録、消費者などへの情報提供が求められます。

こうした動きを受け、当社では製品含有化学物質情報を管理するCMSグループ(化学物質管理システム:

Chemical substances Management System)を設立。お客様のグリーン調達ガイドラインや年々増える高懸念物質(SVHC)への要求に対し、化学物質情報の適切な管理とスムーズな情報伝達に注力しています。現在ではJAMP-GP(電気業界)、IMDS(自動車業界)にも対応可能となり、お客様の多様なニーズに応えています。

CMS グループお客様対応状況



環境活動 2013年度の実績

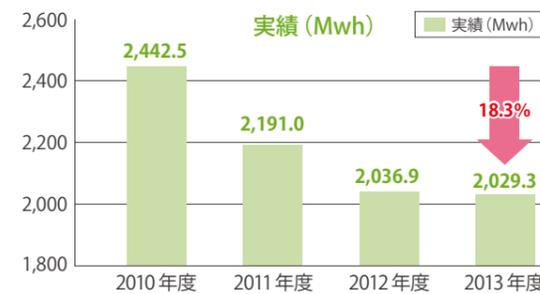
エコオフィスの取り組みとして、2013年度は「電気使用量の削減」「廃棄物最終処分量率の低減」「営業車の燃費向上」「森林循環紙の購入・使用」を目標とし、そのすべてにおいて目標を達成しました。また、エコプロダクツの取り組みでは「環境ソリューション部の売上50億」「環境分野への商談件数管理」を目標に掲げ、いずれも目標を上回る実績を上げています。

エコオフィス

電気使用量の削減

目標達成

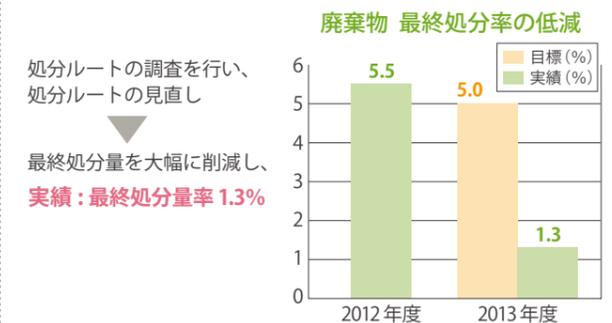
目標: 2010年度比 18%削減
実績: 2010年度比 18.3%削減



廃棄物 最終処分量率: 5%未満

目標達成

※ 最終処分量率 = 最終処分量 ÷ 総排出量



営業車の燃費向上

目標達成

目標: 2011年度比 4.8%向上

- HIV車、低燃費車等への入替
- エコドライブ(急発進・急加速の抑制)の徹底
- アイドリングの禁止等

実績: 13.84km/l [7.5%向上]



森林循環紙の購入・使用

目標達成

全事業所で、100%購入・使用を実施



エコプロダクツ

FA・環境システム部門

目標達成

環境ソリューション部売上

目標: 50億円
実績: 74億42百万円



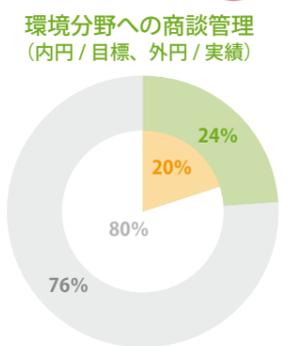
半導体・デバイス部門

目標達成

環境分野への商談件数管理

目標: 商談件数: 2012年度維持 / 587件以上
または、全商談件数に対する環境比率: 2012年度維持 / 20%以上

実績: 環境商談比率 24%



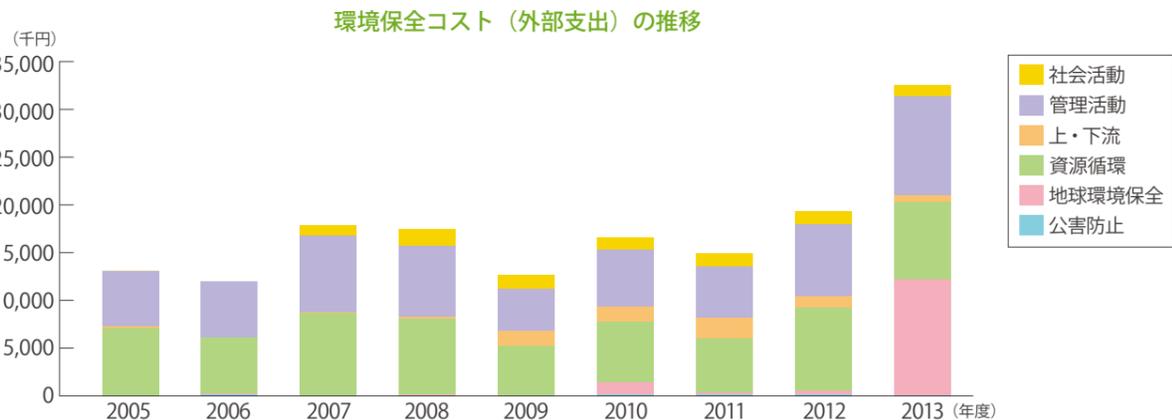
2013 年度環境会計のご報告

菱電商事グループは環境経営を促進するため、環境保全に要したコストとその効果を算出・分析し、経営に反映させる「環境会計」に取り組んでいます。こうした取り組みを通じ、当社グループはこれからも循環型社会と低炭素社会の形成に貢献していきます。

※当社の環境会計は、物量単位 (t-CO₂) に比重を置いています。

1. 環境保全コスト 集計範囲は国内全事業所、関連会社です。

項目		範囲	費用額 (千円)	
事業エリア内コスト	公害防止コスト	水質汚濁防止等のコスト	41	
	地球環境保全コスト	省エネルギー対策、地球温暖化防止等のコスト	8,082	
		太陽光設備のコスト	4,030	
	資源循環コスト	産業廃棄物の運搬・処分委託費用	8,200	8,241
		産業廃棄物保管場所維持費用	41	
外部支出	上・下流コスト	グリーン調達対応等	627	
管理活動コスト	管理活動コスト	ISO14001 認証維持費用	2,955	10,430
		内部監査に係る費用	500	
		環境報告書作成・その他	5,264	
		環境グローバル	1,711	
社会活動コスト	社会活動における環境保全コスト (環境保全を行う団体等への寄付、支援等のコスト)	1,078		
環境損傷対応コスト	環境損傷に対するコスト	0		
社内支出	管理活動コスト	環境活動推進のための人件費	27,022	
合計			59,551	

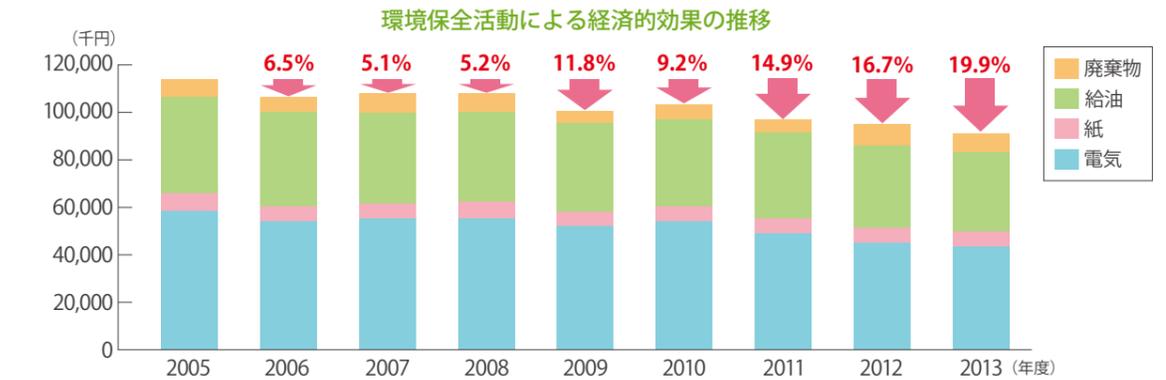


2. 環境保全活動による経済的効果 集計範囲は国内全事業所、関連会社です。

項目	範囲	費用削減額 (千円)			
		実績 (補正前)		補正後	
事業エリア内効果	地球環境保全コスト	電気消費量削減効果	3,410	15,092	23,518
		コピー用紙等使用量削減効果	848	848	
		車輛給油量削減効果	-1,193	7,578	
	資源循環コスト	産業廃棄物排出量・処分量削減効果	-827	-827	-735
リサイクル部品等の売却による効果	92	92			
上・下流効果	グリーン購入における効果	0		0	
管理活動効果	管理活動の効率化等による効果	0		0	
合計		2,330		22,783	

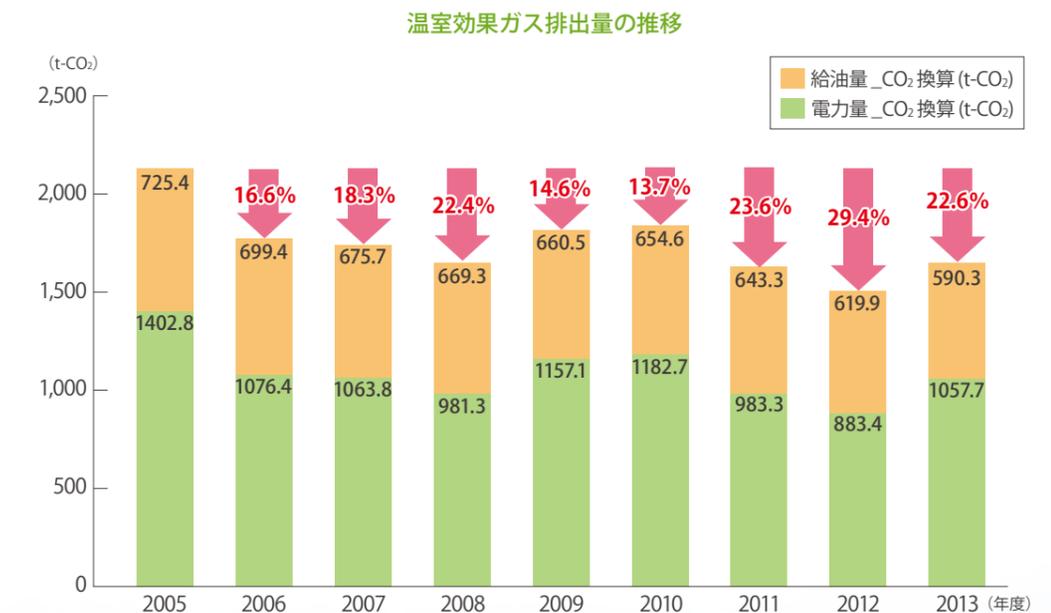
※経済的効果の金額は、2005 年度実績と対比しております。(環境保全効果量=2005 年量-2013 年量)
 ※環境配慮商品の拡販活動による売上高貢献分は算出しておりません。
 ※補正後の金額は、2013 年度給油量、電力量を 2005 年度価格で換算したものです。

環境活動による経済的効果の推移を確認するため、影響のある外的要因 (ガソリン価格・電気料金) を補正した推移表を作成しました。



3. 環境保全活動による地球温暖化 (CO₂ 排出量) の低減効果

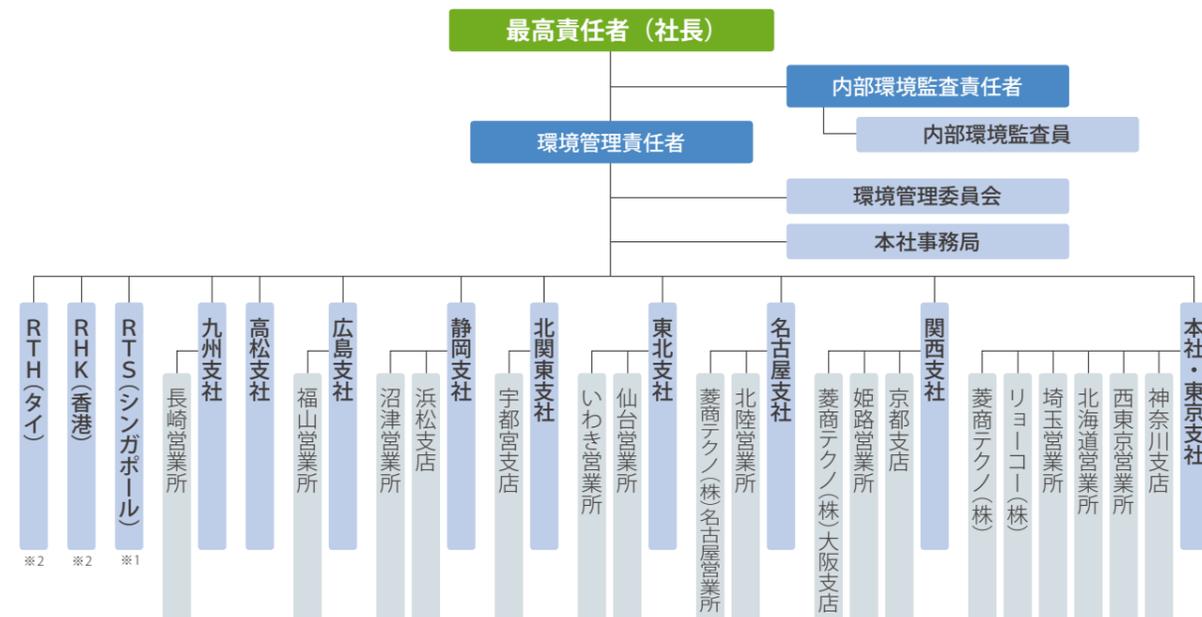
内容		t-CO ₂	
排出量	電力消費による CO ₂ 排出量	1,058	1,648
	ガソリン消費による CO ₂ 排出量	590	



環境管理組織と環境活動の歩み

菱電商事グループでは、グループ一体となって環境経営を推進するために、組織横断的な環境管理組織を設置。社長を最高責任者として国内外に30サイトがあり、審議機関としては全社事項を環境管理委員会、地域事項を各事業所環境委員会が担当しています。

環境管理組織



環境活動の歩み

- | | |
|--|--|
| <p>2001.12 本社・東京支社、関西支社、名古屋支社、菱幸^{※3}がISO14001 認証取得</p> <p>2002.12 国内全事業所がISO14001 認証取得</p> <p>2003.06 環境報告書発行^{※4}</p> <p>2004.12 菱商テクノ拡大でISO14001 認証取得 (国内全子会社認証取得)</p> <p>2005.08 環境活動意識度調査開始</p> <p>2006.04 環境家計簿開始</p> <p>2006.09 上席内部監査員資格制度新設</p> <p>2006.10 監査リーダー会議初開催</p> <p>2007.05 社会貢献活動開始 (地球環境保全活動、エコキャップ回収運動等)</p> <p>2012.01 日経「環境経営度調査」商社部門ランキング 11位</p> | <p>2012.09 サステナビリティレポート (英語・中国語版) 発刊^{※4}</p> <p>2013.04 シンガポールの海外販社 RTS^{※1} が新たに環境活動を開始</p> <p>2013.09 シンガポールで地球環境保全活動を実施</p> <p>2013.12 シンガポールの海外販社 RTS^{※1} が菱電商事グループとしてISO14001 認証取得</p> <p>2014.01 日経「環境経営度調査」商社部門ランキング 10 位</p> <p>2014.03 宮城県栗原市、北関東支社、浜松支店に設置した太陽光発電始動</p> <p>2014.03 Fukushima さくらプロジェクトに参加</p> <p>2014.04 香港の海外販社 RHK とタイの海外販社 RTH が新たに環境活動を開始^{※2}</p> |
|--|--|

※1 RYOSHO TECHNO SINGAPORE PRIVATE LIMITED の略称
 ※2 2014 年 4 月から香港の海外販売会社「菱商香港有限公司」(略称: RHK) 及びタイの海外販売会社「RYOSHO (THAILAND) COMPANY, LIMITED」(略称: RTH) が新たに環境活動を開始しました。
 ※3 現在: リョーコー株式会社
 ※4 2003 年~2008 年の間「環境報告書」を毎年 6 月に発行、2009 年以降「サステナビリティレポート」(英語・中国語版) として毎年 6 月発行、2012 年以降「サステナビリティレポート」(英語・中国語版) も発行。

環境活動 2014 年度の取り組み

2014 年度は、以下の 3 つの大きな柱を中心に環境活動を行います。2014 年度も前年度に引き続き、低炭素社会実現と循環型社会形成に向けた取り組みの強化、社会貢献活動継続実施を推進し、「グローバル環境推進商社」を目指していきます。
 4 月からは香港の海外販社 RHK とタイの海外販社 RTH が環境活動をスタートしています。

2014 年度の環境活動の 3 つの柱

エコオフィス

- 電気使用量の削減
2014 年度目標: 2010 年度比 18.3%削減
- 森林循環紙の使用
- 廃棄物最終処分量率の削減、ゴミゼロへの挑戦
2014 年度目標: 1.1%以下
- 営業車の燃費向上
2014 年度目標: 2011 年度比 8.6%向上

エコプロダクツ

- 重点環境商品 (省エネ、新エネルギー) の販売
2014 年度の目標: 2013 年度売上実績の 5%アップ

社会貢献活動

- 地球環境保全活動: 地域に密着した環境活動 (生物多様性保全のため)
- エコキャップ運動
- Fukushima さくらプロジェクトへの参加



生物多様性保全につながる社会貢献活動

当社グループの社会貢献活動の取り組みは7年目を迎えました。

2013年度は、家族を含む延べ551名の従業員が活動に参加しました。

<p>本社・東京支社</p> 	<p>「東京グリーンシップアクション」参加</p> <p>主催：東京都環境局 実施月：6月、3月 参加延べ人数：115名</p>	<p>活動概要： 「清瀬松山緑地保全地域」にて、倒木処理、木柵整備、外来種の除去などの環境保全活動を実施しています。</p>	<p>支社からのコメント： この活動を通じて身近な環境について知るきっかけになり、身近に生息する外来植物を知ることができたことは非常に有益でした。</p>
<p>関西支社</p> 	<p>「大阪アドプト・リバー・プログラム参加」</p> <p>主催：大阪府 実施月：6月、11月 参加延べ人数：89名</p>	<p>活動概要： アドプトリバープログラムとは河川の美化活動です。当社は神崎川の十八条大橋から三国橋までの約2.5 Kmの清掃を実施しています。</p>	<p>支社からのコメント： 清掃活動（アドプトリバー）も定期的に実施し、毎回数十名の参加があります。 この活動についても意識は定着してきたと思われます。 対象地域のゴミはなくなることはなく、まだまだ継続が必要と考えます。</p>
<p>京都支店</p> 	<p>「世界の京都・まちの美化市民総行動」参加</p> <p>主催：京都市 実施月：11月 参加人数：24名</p>	<p>活動概要： 楽しくきれいをひろげよう～京都・まち美化大作戦</p>	<p>支店からのコメント： 京都市主催の清掃活動に参加しました。 今年度は20名程度参加しました。</p>
<p>菱商テクノ大阪支店</p> 	<p>事務所近隣の公園清掃活動</p> <p>主催：独自企画 実施月：10月、12月 参加延べ人数：26名</p>	<p>活動概要： 事務所近隣の公園の清掃活動を行いました。</p>	<p>支店からのコメント： 毎回10名程度で隣接する児童公園の清掃活動を継続しております。</p>
<p>名古屋支社</p> 	<p>「なごや東山の森づくりの会」参加</p> <p>主催：NPO なごや東山の森作りの会 名古屋市協力 実施月：5月、12月 参加延べ人数：143名</p>	<p>活動概要： 間伐作業、段々畑の敷地整備を行いました。</p>	<p>支社からのコメント： 生態系も学ぶことができ、この活動で植物の大切さ、自然に触れることの楽しさを再確認する良い機会となりました。</p>
<p>東北支社</p> 	<p>「猪苗代湖をきれいにしよう」参加</p> <p>主催：日本テレビ系列 福島中央テレビ 実施月：6月 参加人数：13名</p>	<p>活動概要： 猪苗代湖畔の清掃活動を行いました。</p>	<p>支社からのコメント： 支社メンバーやご家族だけでなく、社外の方も共同作業し新鮮でした。人工物のゴミは少なく、枯れ枝などの自然の物が多かったため、湖が大事にされていると感じて嬉しかったです。</p>
<p>北関東支社</p> 	<p>「赤城山寛満淵のササ刈り作戦」参加</p> <p>主催：自然保護活動推進協議会 実施月：11月 参加人数：20名</p>	<p>活動概要： ニッコウキスゲやレンゲツツジ等の保護のために、ササ刈りを実施しました。</p>	<p>支社からのコメント： 当日は霧が立ち込める中、地域の方々との交流では地元愛を感じることができました。 今後もレンゲツツジを守るために継続していきたいと思っております。</p>

エコキャップ運動

2013年度は全国で193,963個のペットボトルキャップを回収し、エコキャップ推進協会に送付しました。
この活動で、ポリオワクチン：225名分がまかなえ、CO₂:1,421kg削減となります。

使用済み切手収集、プルタブ・割り箸等回収運動

切手収集(ジョイセフ)：関西支社、名古屋支社、東北支社、静岡支社、高松支社、九州支社
プルタブ回収：東北支社、北関東支社
割り箸回収、「テプラ」使用済みカートリッジ回収：関西支社

<p>静岡支社</p> 	<p>「静岡市河川環境アドプトプログラム」参加</p> <p>主催：静岡市 実施月：5月 参加人数：29名</p>	<p>活動概要： 静岡市河川環境アドプトプログラムに参加しています。 回収したゴミは参加者が持ち帰り、家庭ごみとして排出します。</p>	<p>支社からのコメント： 活動に対する社員の参加意識は向上され、毎年安定した参加率となっております。 過去、人数増加を目標としておりましたが、すでにほぼ全員が参加する状況下で、転任や家族参加の有無が達成の可否を決めてしまうようになったため、意味のないものと判断し、実施自体を目標としております。</p>
<p>浜松支店</p> 	<p>「ウエルカメクリーン作戦」参加</p> <p>主催：浜松市・静岡県 実施月：5月 参加人数：20名</p>	<p>活動概要： ウミガメの産卵予定地である遠州浜の清掃を行いました。</p>	<p>支店からのコメント： 浜松市主催でウミガメの産卵に優しい砂浜を維持する為の社会貢献活動が毎年開催されており、参加しております。5月の第2日曜日に実施日が固定されており、社員の中でも定例行事として定着してきております。毎年5t以上のゴミを回収するこの活動には今後も継続的に参加していきます。</p>
<p>広島支社</p> 	<p>「平和記念公園樹木いきいきボランティア」参加</p> <p>主催：財)広島県環境保健協会 広島市都市整備局緑化推進部 実施月：12月 参加人数：27名</p>	<p>活動概要： 平和記念公園内の被爆樹木などの樹勢回復。</p>	<p>支社からのコメント： 広島市都市整備局が主催のボランティア活動であり、世界遺産である原爆ドームに近い平和記念公園の樹木樹勢回復を主目的とし、市民の花と緑や平和に対する意識の向上を図る活動に参加いたしました。</p>
<p>高松支社</p> 	<p>支社周辺の清掃活動</p> <p>主催：独自企画 実施月：3月 参加人数：21名</p>	<p>活動概要： 当社周辺の清掃活動を行いました。</p>	<p>支社からのコメント： 当日は冷たい風が時折吹くものの晴れ間の中での作業となり、けが人もなく無事に終わることができました。 用水路周辺の雑草は再び生い茂った状態となり、また年々太く手強くなっている感があります。 女性社員や家族(子ども)をはじめ多くの方が参加し、今回も有意義な活動となりました。</p>
<p>九州支社</p> 	<p>「福岡市油山自然観察の森清掃活動」参加</p> <p>主催：独自企画 実施月：3月 参加人数：21名</p>	<p>活動概要： 森の保全活動として、ボランティアグループに協力いただきながら当社単独で実施しました。</p>	<p>支社からのコメント： 森で伐採してある枝の仕分けや、斜面の樹木の伐採などで約2時間の作業となりました。 普段使わないノコギリなどを使い、楽しみながら作業を実施できたと思います。</p>
<p>RTS</p> 	<p>International Coastal Cleanup, Singapore 2013 (ICCS 2013)</p> <p>主催：Ocean Conservancy 実施月：9月 参加人数：3名</p>	<p>活動概要： Pasir Ris Town Parkの海岸清掃活動。</p>	<p>海外版社からのコメント： 初の環境活動への参加でしたが、参加したスタッフから大変貴重な経験ができた、今後も参加したいとの感想も聞くことができ、大変有意義な活動だったと感じています。今後は、さらに多くのメンバーで、こういった環境保全活動に継続的に参加していきたいと思っております。</p>



復興を願う「fukushima さくらプロジェクト」

震災からの復興のシンボルとして、新種の桜「はるか」を、福島県から広めていく取り組みが「fukushima さくらプロジェクト」です。当社は社会貢献活動のひとつとして、このプロジェクトに協賛しています。かつてない甚大な被害をもたらした東日本大震災ですが、時間の経過とともに人々の関心は薄れつつあるようです。しかし被災地では、今でも

避難生活をつづける方、家族が行方不明のまま辛い思いをされている方などが数多くいらっしゃいます。震災を忘れず、支援につづける気持ちを、当社は「はるか」の健やかな成長と普及に託しました。桜は苗木の育成に数年、植樹から花を咲かせるまでにはさらに数年を要します。「はるか」がゆっくりと育つように、復興にも息の長い応援を継続していきます。

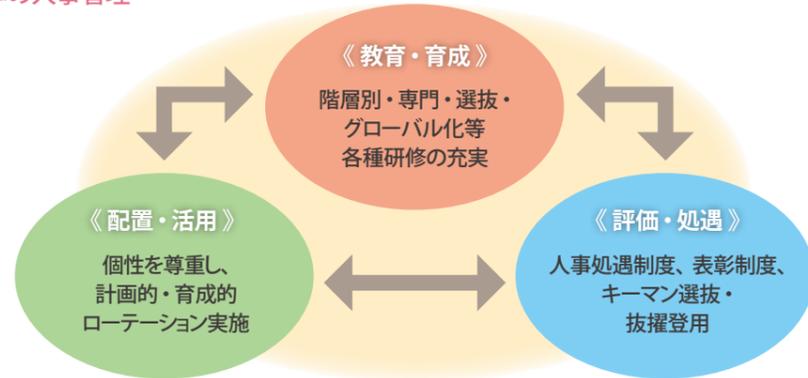
「fukushima さくらプロジェクト」▶ <http://www.fukushimasakura.jp/>

社員の誰もが働きやすい快適な職場環境の中で、一人ひとりが“やりがいを持って働き、仕事を通じて成長”を続け、グローバルな場面で活躍しつづける人材となること。それが菱電商事の基本的な人事目標であり、その基盤となる、働く人の多様性を尊重し、社員とその家族の安心感の拡充に注力していきます。

働き甲斐のある職場環境づくり

菱電商事は、「従業員と会社の両方に最大の成果を生み出すことを追求する」ことを人事管理の基本理念とし、従業員一人ひとりが自己実現を目指す中で、仕事を通して自らの価値を高め、成果を生み出す人材づくりに取り組んでいます。

■ “三位一体の人事管理”



■ 個々のスキル、役割、成果に基づく人事処遇制度

定量的な成果だけでなく、定性的な行動プロセス目標の達成度も重視し、高い目標にチャレンジしていける風土づくりを行っています。また、一人ひとり個別の育成・活用シートを作成し、社員の成長につなげています。

■ さまざまな側面からの教育・育成

業務遂行を通じた職場での育成をベースに、充実した Off-JT（職場外研修：Off the Job Training）を実施しています。新入社員研修からはじまり、階層別に人間力・ビジネススキルの向上を図る研修、役職や担当職務に必要な専門知識・スキルを習得する研修、ソリューションビジネス推進のための技術教育などを進めています。特にグローバルに活躍できる人材の育成は重点課題であり、海外派遣型研修などを積極的に実施しグローバル人材育成を加速しています。



ディスカバーワークショップ研修

総合職入社3年目の従業員全員が渡航国を選び、活動目標・プランを立て、2週間“単独”で行動する研修。自主独立の実践、グローバル人材のベースづくりを目的としている



新入社員チームビルディング研修

山奥の研修所で、力を合わせて難解な課題をクリアしていくことで、チーム力の必要性を実感するとともに、お互いの深い理解につながるコミュニケーション力を習得する

ワーク・ライフ・バランス推進のための働きやすい環境づくり

子育てや介護、高齢期など、従業員がそれぞれのライフステージに応じて能力を十分に発揮できる良質な環境づくりに取り組んでいます。

■ 従業員の安心につながる休暇制度の充実

菱電商事では、失効した年次有給休暇を一定の日数まで積立保存できるようにしています。積立保存した有給休暇は、育児休業を満了し保育所への入所を希望しても入所できない場合や従業員の私傷病、家族の介護などに使用することができます。また、半日単位や時間単位で有給休暇を取得できるようにするなど、従業員が安心して仕事ができるよう制度の充実に努めています。

■ 育児・介護に関する支援制度

従業員の育児や家族の介護を支援するために、育児・介護休業法に基づいて各種制度を整備しています。また、法令を上回る制度として以下のような環境整備を行っています。

- ①産前産後の休業期間を、有給の産前産後休暇として取得できるようにしています。
- ②育児のための勤務時間短縮措置を、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合に適用できるようにしています。

■ ライフステージに応じた研修制度

研修制度において、今後の人生設計を支援する世代別セミナーを開催しています。30歳からのマネー・ヘルスプランやキャリア形成をはじめ、50歳代では退職後に向けての生きがいや生涯設計、健康増進、家庭経済などに関するアドバイスやサポートを行っています。



50代ライフプランセミナー

退職金や年金の説明、退職後の生活設計・マネープラン、健康増進などに関する研修。ご夫婦で参加する社員が多い



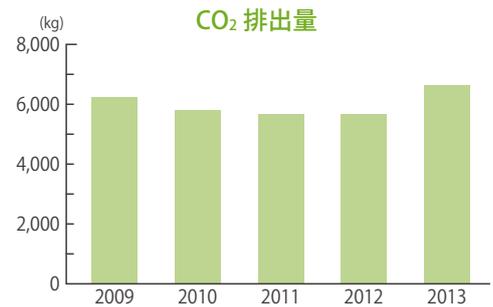
「環境家計簿」とは、家庭での電気、ガス、水道、灯油、ガソリンの使用量を集計し、CO₂排出量として算出するものです。社員やその家族にエネルギー・環境問題に関心を持ってもらうため、菱電商事グループでは2006年度から「環境家計簿」の取り組みを行っています。ここでは、取り組みに参加した社員のインタビューを紹介します。

[インタビュー内容]

- ①「環境家計簿」をはじめたきっかけは？
- ② 毎年つけられている秘訣は？
- ③ 取り組まれて良かったこと、大変だったことは？
- ④ 成果を上げるために何かされていることは？
- ⑤ まだ「環境家計簿」に取り組まれていない方へ、ひと言。
- ⑥ その他、何かありましたらお聞かせください。

高松支社 青野さん

- ① ケチ根性からです。3人の子どもが大きくなり、エアコンもシャワーも何もかも使いたい放題（たとえば、夏場はエアコンを18度に設定して毛布をかけて昼まで寝ている……等）。それをただ叱るのではなく、何か意図づけをしたくて応募したのがきっかけです。
- ② まずは性格？ あとは、子どもにフィードバックするために比較が必要だったから。
- ③ 良かったことは、子どもが大きくなったいま、節電の意識が根づいたかと感じます。大変だったことは、前年比較といっても年々家族が成長すること。節電のために夏場一緒に部屋で寝ていた子どもも親と一緒に寝なくなるし、受験の年はやはり体調管理のため、例年より電気の使用量が増えます。嫁に「前年より使用量増えた」と言うとたまに怒られました。
- ④ 特に節電機器の購入はしていません。とにかくこまめに電気を消すことと、エアコンの設定温度を言いつづけました。
- ⑤ 環境のために個人からできる取り組みだと思います（あと、5年前と比べ、同じ使用量でもどれも請求金額がかなり高くなっています）。
- ⑥ 今年も登録しましたので、よろしくお願いいたします。



東京支社 鈴木さん

- ① 家計簿の一覧表でトータルに使用料などが管理できて便利だと思ったのと、謝礼に魅かれたというのもありました（笑）。
- ② 毎月こつこつ記帳したためないことと、楽しんでやること。
- ③ うっかりためてしまうと大変でした。
- ④ 自宅クールビズ（ただし、子どもが赤ちゃんのときはお休ませざるをえませんでした）。
- ⑤ 毎年つけていると数年の経緯が分かって面白いですし、節電や節約の励みにもなります。
- ⑥ 今後もよろしくお願いいたします。



[環境事務局コメント]

長年環境家計簿を継続して頂きありがとうございます。
環境家計簿をご家庭での教育に利用されているなど、積極的に節電活動等を実施いただいております。
今後もよろしくお願いいたします。

日経 第17回「環境経営度調査」商社部門ランキング第10位獲得



菱電商事株式会社

〒170-8448 東京都豊島区東池袋3-15-15
TEL03-5396-6111 FAX03-5396-6448
<http://www.ryoden.co.jp>



このレポートは、適切に管理された森林で生産されたことを示すFSC® 森林認証紙を使用しています。



印刷には生分解性や脱臭性に優れ、印刷物のリサイクルが容易なベジタブルインキを使用しています。

本レポートは「エコとじ」を採用しています。
※「エコとじ」: 環境に配慮し、針金を使わずのりを使って綴じているので安全性が高くリサイクルが可能です。